

犯罪被害者の会主催第2回シンポジウム

☆☆☆犯罪被害者は訴える~~~~~パネラーは貴方です☆☆☆

・・・犯罪被害者の権利と制度確立を目指して・・・

2000年9月3日(日)

10:00~16:00

場所 クレオ大阪西

盛会裡に終了

多少時間のずれがあったがほぼ予定通り議事を終え盛会裡に無事に終了した

会の詳細については、ニュース・レター第4号でお知らせしますが、取り急ぎ、当日のスケジュールと総会決議を次頁(裏面)にお載せします。

NHK スペシャル 放映

10月8日(日) 21:00~21:49  
NHK 総合1チャンネル

犯罪被害者の会の発足以来の活動状況を、NHK テレビがずっと密着取材してきましたが、いよいよ、10月8日(日)21:00~21:49総合1チャンネルで、NHK スペシャルとして放映されます。

この番組は、当会主催の2回のシンポジウムの映写をはじめ、岡村代表幹事やその他の役員の日常の活動状況を密着取材したもので、犯罪被害者の生の悲痛な訴えと、犯罪被害者の権利の確立に向かったの営々たる活動の積み重ねが、収録されております。

ディレクターは、稲毛重行氏と東大作氏です。

☆☆☆☆ 是非ご覧下さい ☆☆☆☆

大阪前夜祭  
50余名参集

大阪におけるシンポジウムと総会の前夜の9月2日(土)18時~20時会場近くのいけす料理店で前夜祭が開かれた。

全国各地から会員が50余名参集し、相互に語り合い、悩みを分かち合い、意見と気持ちをすりあわせ、親睦を深めた。有志はさらに、二次会に盛り上がった。

犯罪被害者の会  
(通称 あすの会)

〒100-8694

東京中央郵便局 私書箱1646号

TEL 03-5319-1773

FAX 03-5319-1774

E-M higaisya@zeus.netspace.or.jp

H-P www3.netspace.or.jp/higaisya

第2回シンポジウム及び総会時間表

シンポジウム (10:00~14:50)

【午前の部】 司会： 中村 武士  
 10:00 開会宣言 松田 政美  
 挨拶(闘争宣言) 岡村 勲  
 10:30 被害者からの発言  
 ① 尾ノ井廣行 ② 猪野 京子 ③ 井上 保孝 ・ 井上 郁美  
 ④ 片山 徒有 ⑤ 市原千代子 ⑥ 高松由美子 ⑦ 岡本真寿美  
 (昼食休憩) 12:00~13:00  
 【午後の部】 司会： 渋谷登美子  
 13:00 会場からの発言(発言希望者のうちから若干名)  
 14:30 総括 常磐大学学長 諸澤 英道  
 14:50 閉会宣言 大引 節子  
 黒江恵美子  
 (休憩) 14:50~15:00

総会 (15:00~16:00)

【総会】 議長： 林 良平  
 15:00 開会宣言  
 経過報告 本村 洋  
 挨拶と今後の活動方針について 岡村 勲  
 16:00 閉会宣言 司会

決 議

1. 犯罪被害者は、身体や精神に重大な傷害を受け、長期の治療、リハビリ、カウンセリングを余儀なくされています。自ら医療機関を探さなければならず、医療、介護の費用などは原則として自己負担で、十分な医療を受けることが困難な状況にあります。犯罪の加害者に対しては、国の施設で、国費によって医療、介護を受けさせるため、年間数十億円の予算が使われている現状と比較してみても、犯罪被害者に対する扱いは著しく公正さを欠くものといわざるをえません。私たちは、国、自治体、医療関係者に対して、犯罪被害者が安心して治療に専念できるよう、制度改革を要望します。犯罪の事件報道の過熱ぶりは目に余るものがあります。被害者は尊厳を傷つけられ、日常生活にも支障を来しております。私たちは、報道機関に対して、取材や報道に当たっては、被害者の生活の平穩およびプライバシーを尊重するよう要望します。犯罪被害者は、矯正施設を出所した加害者に報復されることがあり、不安に怯えて犯罪被害者の更正およびプライバシーの保護のためという理由で、出所情報を被疑者に知らせません。犯罪被害者を防止し、安全を確保するため、犯罪被害者に出所情報を提供する自治体に対して、被害者の安全を保障する施策をとることを要望し

犯罪被害者の会

第2回シンポジウム及び総会時間表

シンポジウム (10:00~14:50)

【午前の部】 司会： 中村 武士  
 10:00 開会宣言 松田 政美  
 挨拶(闘争宣言) 岡村 勲  
 10:30 被害者からの発言  
 ① 尾ノ井廣行 ② 猪野 京子 ③ 井上 保孝 ・ 井上 郁美  
 ④ 片山 徒有 ⑤ 市原千代子 ⑥ 高松由美子 ⑦ 岡本真寿美  
 (昼食休憩) 12:00~13:00  
 【午後の部】 司会： 渋谷登美子  
 13:00 会場からの発言(発言希望者のうちから若干名)  
 14:30 総括 常磐大学学長 諸澤 英道  
 14:50 閉会宣言 大引 節子  
 黒江恵美子  
 (休憩) 14:50~15:00

総会 (15:00~16:00)

【総会】 議長： 林 良平  
 15:00 開会宣言  
 経過報告 本村 洋  
 挨拶と今後の活動方針について 岡村 勲  
 16:00 閉会宣言 司会

決 議

1. 犯罪被害者は、身体や精神に重大な傷害を受け、長期の治療、リハビリ、カウンセリングを余儀なくされています。自ら医療機関を探さなければならず、医療、介護の費用などは原則として自己負担で、十分な医療を受けることが困難な状況にあります。  
 犯罪の加害者に対しては、国の施設で、国費によって医療、介護を受けさせるため、年間数十億円の予算が使われている現状と比較してみても、犯罪被害者に対する扱いは著しく公正さを欠くものといわざるをえません。  
 私たちは、国、自治体、医療関係者に対して、犯罪被害者が安心して治療に専念できるよう、制度改革を要望します。
2. 犯罪の事件報道の過熱ぶりは目に余るものがあります。被害者は尊厳を傷つけられ、日常生活にも支障を来しております。  
 私たちは、報道機関に対して、取材や報道に当たっては、被害者の生活の平穩およびプライバシーを尊重するよう要望します。
3. 犯罪被害者は、矯正施設を出所した加害者に報復されることがあり、不安に怯えております。  
 国は、加害者の更正およびプライバシーの保護のためという理由で、出所情報を被害者に提供しません。  
 私たちは、再被害を防止し、安全を確保するため、犯罪被害者に出所情報を提供するとともに、国、自治体に対して、被害者の安全を保障する施策をとることを要望します。

2000年9月3日

犯罪被害者の会